

与謝野町総合計画審議会 会議報告書

日 時：令和元年 11 月 5 日（火）午後 7 時 00 分から午後 9 時 15 分まで

場 所：岩滝保健センター 会議室 1・2

（敬称略）

出席委員

堀江 弘彦	山崎 政巳	白敷 利昭	三田 智子
藤原 さゆり	岡田 三栄子	大内 一博	嶋崎 信次
石倉 由加里			

欠席委員

小山 拓也	木村 順一	後藤 康宏
-------	-------	-------

事務局

小池課長	小谷課長補佐	井上主任
------	--------	------

傍聴者：1 名

《会議の要点》

▼第 2 次与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略の策定について（参照：スライド資料、資料 1～2）

総合戦略で目指す姿と基本目標の方向性の確認

■人口減少の抑制

→ ○人の流れをつくる（転入増・転出減、出生数増） ○子育て分野

■人口減少、少子高齢化にあっても持続可能なまちづくりの推進

→ ○人財育成 ○地域づくり/地域・自治体連携 ○しごと分野

※第 1 次与謝野町総合戦略の基本目標を継承しつつ、基本方針 2019 における新たな視点も参考

今後の策定スケジュールについて確認

第 4 回：12/16～12/20 で調整 … 意見出し「人づくり②」、第 2 次戦略中間案に向けたまとめ

第 5 回：翌 1 月中下旬で調整 … 第 2 次戦略中間案（子育て分野、しごと分野の結合）

第 6 回：翌 2 月下旬（～3 月初旬）で調整 … 第 2 次戦略案について

▼ワークショップ（参照：スライド資料、参考資料 1～2）

①『これまでの意見のまとめ』 個人ワークの後、全体ワークで実施（30 分）

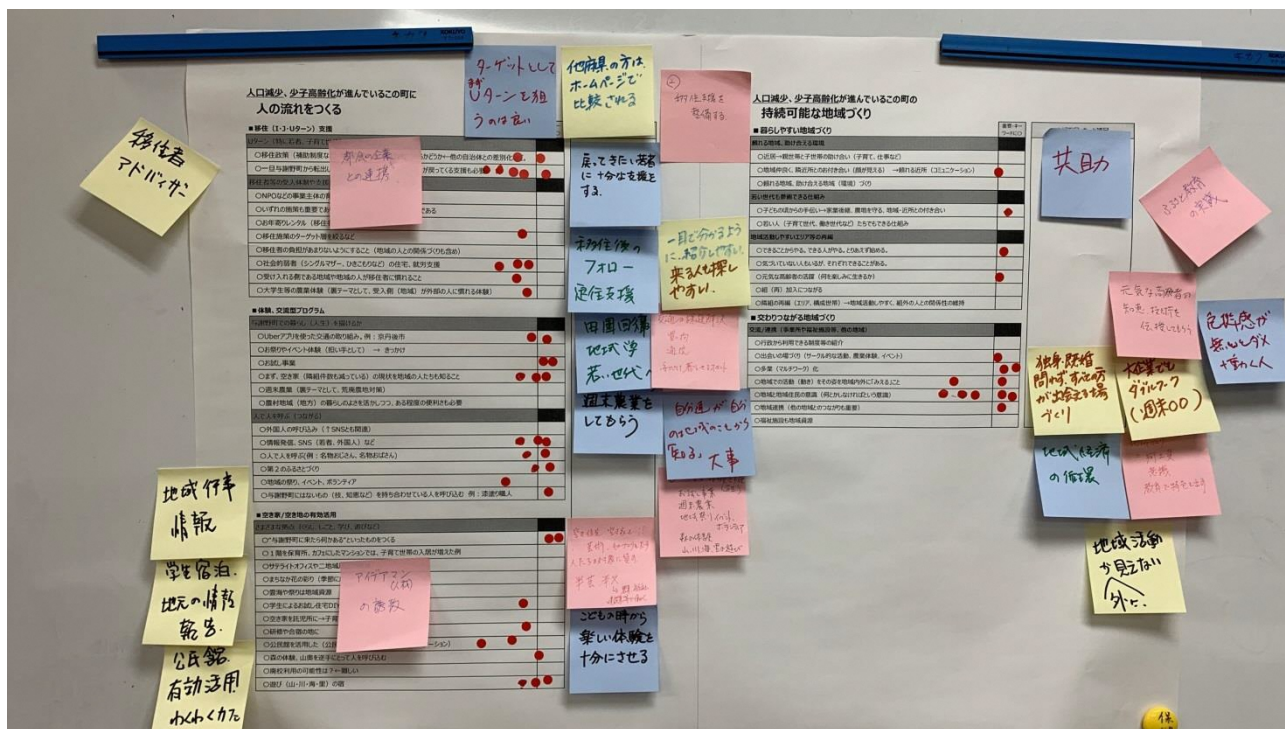
＊“人の流れをつくる”と“持続可能な地域づくり”での重要な視点やキーワードの集約、不足・補足事項等について意見発表

②『織りなす人が活躍できるために』 3 グループで実施（45 分）

＊地域人財が活躍する（チャレンジ）上でハードル（壁）となっていること、活躍（チャレンジ）に必要なこと、後押しとなることについて意見交流

＊ワークショップでの意見概要は別紙のとおり

*12/16～12/20 で調整の上、後日案内する



会議内容

1. 開会

(事務局)

みなさんこんばんは。定刻より若干早いですが本日出席いただける委員の皆さまがお揃いになりましたので、与謝野町総合計画審議会を始めさせていただきます。委員の皆さまには公私ともにお忙しい中、また夜になり冷え込んでまいりましたが、ご出席賜り誠にありがとうございます。

本日の委員出席状況につきましては、小山委員様、木村委員様、後藤委員様からご欠席のご連絡を頂いております。

それでは開会にあたりまして、会長からご挨拶をいただきたいと思います。

2. 会長あいさつ

(会長)

皆さま改めましてこんばんは。昨日近畿地方で木枯らし1号が吹いたようです。いつまでも暖かいなと思っておりましたが、朝夕はすっかり冬に向かっていていると思えるくらい寒くなってきた今日この頃でございます。また、台風19号や豪雨によってお亡くなりになられました方には心よりご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されている皆さまが一日も早く普段の生活に戻られますことを祈るばかりでございます。

本日は前回に引き続き、お忙しい中お集まりいただき、限られた時間内ではございますが、皆さまの活発なご意見をいただきまして、予定の午後9時に終わりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

3. 議題

(事務局)

この後の進行につきましては、会長でよろしく願いいたします。

(会長)

議題に入ります前に、一つ訂正させていただきます。事前配布の資料の中で、次回審議会の日程をお渡ししておりますが、日程に変更がございますので後ほど事務局から説明していただきますので、一旦取消ということでご理解いただきたいと思います。前回会議内容でのお気づきの点やご質問、ご意見などをいただく時間を取りたいと思いますので、ざっくばらんにご発言ください。

本日は前回に引き続きまして、第2次与謝野町総合戦略案のエッセンスとするためにワークショップ形式でご意見をたくさんいただきたいと思います。午後9時の終了を目指して進めてまいりたいと思いますので皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

(1) 第2次与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略について

(会長)

それでは次第に沿って進めてまいります。議題(1)第2次与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略について、事務局から説明をお願いします。

----- 事務局説明（スライド資料、資料1、資料2参照） -----

(会長)

ただ今事務局から説明いただきました第2次与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略について、今後の日程については後ほど再度説明の時間をとりますので、その他の件でご質問やもう一度説明してほしい箇所などございましたらお受けいたします。

----- 質問なし -----

(2) 人の流れをつくる、持続可能なまち（地域）づくり について

(3) 織りなす人をつくる について

(会長)

続きまして、議題(2) 人の流れをつくる、持続可能なまち（地域）づくり (3) 織りなす人をつくる について、その後のワークショップの進行と併せ、事務局からお願いします。

----- 事務局説明・進行（スライド資料参照、参考資料1、2） -----

■ワークショップ①『重要な視点、キーワードの集約』 全体共有での主な意見

【人の流れをつくる】

○意識調査結果で「戻ってきたい」とする10代20代がありましたが、戻ってきたい若者への十分な支援はキーポイントだと思う。

○空き家の活用では、都市部から週末を利用し、空き家宿泊で農業体験など、住民から教えてもらいながら、という交流も含めた取り組みはいいと思う。

○山・川・海など自然を活かした遊び体験を子どもの時から楽しい体験を十分にする環境が、将来のUターンにつながる

○社会的弱者の移住支援（住宅）

○公民館を開放した活用の幅を広げる（子育て支援、買い物難民対策など）

○与謝野町にしかない（特化）による関係人口づくり

○与謝野町情報に関するホームページ、SNS投稿など情報発信が重要。いかにWELCOME感を出すか。（実際に訪れる前にリサーチされる、他市町と比較検討される）

○空き家等に関する情報共有

○出会い（人と人の交わり）の場（地域、まち）。週末〇〇（農業、田舎暮らし、婚活）

○副業・兼業、多業（マルチワーク）の拠点

○移住者―地域―行政―金融機関の橋渡し（アドバイザー、コーディネーター、相談員）

○施策展開の順序が重要。地域を知る、知ってもらう（PR、イベント）→ 地域資源の活用（高齢者の知恵・技を活かす、公民館の活用など）→ 地域を体験・体感（週末〇〇、〇〇体験、など）

○企業による体験イベントの実施（週末体験等商品のパッケージ化）や地域事業とのコラボ

【持続可能な地域づくり】

○地域仲良く、隣近所付き合って老後を迎えられる地域づくり

○移住を受け入れる側の地域づくり（地域住民が“人”馴れする）

- 公民館を開放した活用の幅を広げる（子育て支援、買い物難民対策など）（再掲）
- 地域と地域住民の意識改革（現状把握、共有から始める、自分事化）
- 制度緩和化（＝無償運送＜地域貢献、地域公共交通のあり方）
- できることから実践、周囲の理解
- 地域・横連携（朝市、ライドシェアなど）
- チャレンジする人や企業、モノコト起こし人や企業を応援する地域づくり
- 地域人財と地域とのネットワークづくり、情報発信

■ワークショップ②『織りなす人が活躍できるために』 全体共有での主な意見 （34：12.15）

【身近な地域人財】

- 若い世代
- （丹後の）女性
- 子どものために関わっている人
- 国際感覚を持ち合わせている人
- 前向きにチャレンジする人（後ろは向かない、建設的な意見を出す人）
- 新たな活動をする人、グループ
- 知恵をもった高齢者
- ヨソモノ（地域おこし協力隊）
- 目標を持っていゝろんなモノコトを始められる人、始めている人
- 地域活性化に取り組む人
- 人が集まりやすい拠点づくりをしている人

【ハードル（壁）になっているもの】

- 新たな行動を起こす人やグループに対する理解度の低さ
（地域の理解が得られにくい、理解されることに時間がかかる）
- 人財の高齢化
- マンネリ化
- 責任追及
- 資金がない
- 表だって物が言いづらい。（陰で言う、言ってしまう土壌・風土）
- 情報量不足（から理解につながりにくい、発信・受信双方の課題）
- 世代間コミュニケーションの取りにくさ
- リーダーや中心的人物の意識
- 地域性によるしがらみ
- 他人事（になりがちで、独自活動への理解や巻き込みが難しい）
- 活動や取組に関わる人の固定化

【必要なもの】

- 様々な人や活動をつなぐこと、つなぐ人
- 寛容さ、応援する雰囲気・人

- いろんなことを一緒にやる、人と人とがつながること
- 新しい動きや人への理解が必要
- 頑張る人を応援する施策が必要
- 人が集まりやすいコト・モノ探し
- 継続的な取り組みにより活動等の経験機会を増やす
- 情報の発信力・受信力

【後押しになるもの】

- いろんな人と一緒にやること
- 共感が増えること、多様を認めあうこと
- 地域の応援
- 他所で活躍している人
- バックアップする（応援する）体制づくり
- 無利子貸付制度、補助金活用
- ヨソモノ、ソトからのアイデアを求める
- サポーター（住民、行政、区）

※ワークショップまとめは別紙まとめも参照のこと

（事務局）

次回審議会では、まちや地域において、どのような人財が求められ、求める人財を育成するためにはどのような取り組みをすればよいか、といった視点でご意見をいただきたいと考えておりますので、「人づくり」に関しての意見出し2回目を行いますのでよろしくお願いいたします。

（3）質疑応答

（会長）

ワークショップお疲れ様でした。各テーブルからいろんなご意見を発表いただきました。掘り下げて聞きたいという点等ありましたらご質問などお受けいたします。

----- 質問なし -----

4. 次回審議会の日程について

（会長）

それでは最後に次回審議会の日程について事務局からよろしくお願いいたします。

（事務局）

会議冒頭で申し上げましたとおり、審議会開催回数を増やし議論の場を確保したいと考えております。よって、先にご案内しておりました1月と2月の2回開催を、12月、1月、2月の3回開催に増やすものでございます。

今回は12月開催では、人づくりへの更なる意見出しと第2次戦略の中間案に向けたまとめをご

確認頂く場として、また、第5回目となる1月開催では、産業振興会議や子ども子育て会議で議論されていますしごと分野と子育て分野に関する案を結合した中間案をご確認頂く場に、第6回目の2月開催では、パブリックコメントを反映した戦略案をご確認頂く場として考えておりますことをご理解いただきご予約いただきますようお願いいたします。

なお、第4回目12月開催の日程調整につきましては、12月16日～20日で調整したいと思います。追ってメール等でお伺いいたしますのでご予約についてご返信ご回答いただきますようお願いいたします。

(会長)

追加分の第4回審議会開催が年末の忙しい時期となり、お出にくことと思いますが、委員の皆さまご出席いただきますようよろしくお願いいたしますとともに、第5回第6回と重ね戦略案を作り上げていきたいと思いますのでご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、予定しておりました時間をまわってしまいましたので、特にご意見ご質問等なければ副会長からのご挨拶をいただいて閉会としたいと思います。

(副会長)

長時間にわたりまして大変ご苦勞様でした。今日は皆さんの前で意見等たくさん言わせていただきましてエネルギーを使い果たしましたので、あいさつは省略させていただきます。ご苦勞さまでした。ありがとうございました。

以上